

※管理番号_____号

1 課題名
クローン病に対する各生物学的製剤による治療前後の内視鏡像の比較検討
2 当院の研究等実施責任者 所属 IBD 内科 職名 センター長 氏名 深田 雅之
3 研究等の概要（詳細は別紙に記入のこと） 近年、クローン病(CD)の治療における生物学的製剤の役割が増しており、新たな作用機序の複数の製剤が使用されるようになった。CD で使用される生物学的製剤がターゲットとする分子は大きく分けて3つあり、サイトカインである TNF α 、IL-23、そして接着因子であるインテグリン $\alpha 4\beta 7$ などである。これら作用機序の異なる製剤によって治療された CD においては、腸管病変の修復過程が異なることが考えられ、それは、内視鏡像に現れる可能性がある。しかし、これまでに各生物学的製剤の使用前後における内視鏡像の変化を検討した報告はない。また、潰瘍の修復機転など、内視鏡的な修復様式がその後の治療効果判定の予測となる可能性がある。今回我々は CD に対して抗 TNF α 製剤、インテグリン阻害剤、抗 IL-23 製剤の導入前後の経時的な内視鏡像の経過を後ろ向きに調べ、修復様式の変化、病変形態による有効性の予測などが可能か検討を行う。
4 研究等の対象及び実施場所 対象 2020 年 6 月から 2025 年 12 月の間に JCHO 東京山手メディカルセンターの炎症性腸疾患内科で、寛解導入目的に生物学的製剤の投与を受けた CD の患者さん。 実施場所： 東京山手メディカルセンター

研究使用の停止申請書 (オプトアウト)

1 対象となる方

2020年6月から2024年6月の間にJCHO 東京山手メディカルセンターの炎症性腸疾患内科で、抗TNF α 製剤、VEDの投与を受けたCDの患者さん。

2 研究課題名

承認番号 ()

研究課題名：クローン病に対する各生物学的製剤による治療前後の内視鏡像の比較検討

3 研究実施機関

研究機関

研究責任者

東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科 部長 / センター長 深田雅之

4 本研究の実施期間

倫理申請承認日～西暦2028年12月31日

5 お問い合わせ

本研究の対象となる方より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、下記へのご連絡をお願いいたします。

事務局：東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科 部長 / センター長 深田雅之

〒169-0073

東京都新宿区百人町 3-22-1

TEL: 03-3364-0251 Fax : 03-3364-5663